

Pirika Pro HSPiP Add-On 利用規約

これは Pirika Pro HSPiP Add-On(以下 PP-AO)の利用規約に関するものである。

PP-AO は LLC: Pirika.com 社により開発されたソフトウェアである。

企業に属するものが PP-AO を利用する場合の規約を定める。

1. 利用条件

企業で PP-AO を利用する場合には所定数の HSPiP、CLI ライセンスを所有*1 する必要がある。以下の条件に合意する場合には、PP-AO を 1 年単位のサブスク方式で提供する。

*1: PP-AO は利用人数制限ができない。PP-AO を導入すると HSPiP を購入する必要が無くなってしまふ。所定数とは会社規模に応じたものになる。

2. PP-AO の導入目的

商用利用の禁止。*2

ML 教師データ利用禁止。*3

*2: 商用利用の意味は、PP-AO のアプトットを直接販売する等の行為を指す。有償で代理計算するなどが想定される。

特に分析会社が分析結果に PP-AO の結果を含める行為は商業利用になる。

一律に禁止するものではないが、別途 pirika.com 社と協議する必要がある。

研究報告書への記載、特許出願明細への記載、学術誌等への掲載は問題ない。

*3: PP-AO が提供する HSP や様々な熱力学的物性推算値自体を機械学習(ML)させることは禁止する。研究対象の ML を行う際に PP-AO が提供する物性値を識別子として使う分には問題ない。

3. 禁止事項

逆コンパイル、デコンパイル *4

モデル推定、出力値を用いた再現行為 *5

*4: ソースコードを取り出す行為は禁止する。

*5: 同等性能を持つソフトの開発は禁止する。

4. 大量出力の公開禁止

PP-AO が提供する物性値を論文、特許等で使うことは問題ない。ただし、例えば機械学習(ML)に使った値やデータベースなどで大量に公開する事は禁止する。^{*6}
大量の定義は 100 程度とする。それ以上のデータを公開したい場合には別途協議する

*6: ターゲットが自社の大量データであったとしても、ML の識別子として PP-AO の計算値を大量に公開する事は禁止する。試薬会社の化合物の DB などに計算結果を含める事も大量出力になる。これは 3. 禁止事項で定めた出力値を用いた再現行為を可能にしてしまう為である。

5. PP-AO を利用していることの公開の可否

Pirika.com の Web ページで利用先として公開することの可否 可、否

利用規約に同意します。

日付: _____

日付: _____

組織名: _____

組織名: LLC: Pirika.com 社

代表: _____

肉筆サイン 代表社員: _____